

# 朝

二年 画数 12  
筆順 + 吉 卓 朝  
オン チヨウ  
クン あさ

成り立ち



お日さまが、くさのあいだから見えることをあらわした「車」と、「お月さま」とをくみあわせてつくった字です。よるのお月さまにかわって、お日さまがおおを見る「あさ」をあらわしたものです。

「もとの字は、旁が「月」で、「舟」の変形したものである。音のシユウが「朝」の字の音符で、チヨウは訛ったものである。会意・形声字である。

「朝」が「朝廷」の意に用いられるが、昔、天子が毎朝、重臣を廷前に集めて政務をとったことに因る。」

便覧方

- ▽早朝のトレーニングは、たいへんだが、おわったあとは、きぶんがさっぱりします。
- ▽朝、おきてみると、ゆきがふつていました。そととび出してみると、あたりはいちめん、銀世界でした。白いゆきに朝日があたって、さらさらと、まぶしくかがやいていました。
- ▽「朝がくると、おほしさまはどこへいつちやうの？」と、おとうとが、ぼくにききました。そこで、「おほしさまは、お日さまがでると、見えなくなるんだよ。どこかへいつちやうわけじや、ないんだよ」と、おしえてやりました。

熟語例

- ▽朝食(朝ごはん)
- ▽早朝(朝早く)
- ▽朝令暮改(朝、出した命令が、夕暮れになると改められること。あてにならない命令のことをいったものです。)
- ▽朝廷(むかし、天子さまが政治をなさったところ。国の中心)

# 直

二年 画数 8  
筆順 + 市 首 直  
オン チヨク・ジキ  
クン ただいちに・なおりすひる

成り立ち



「十(年36)」と、「目」と、ものの「すみ」をあらわした「」とをくみあわせてつくった字。

「十人の人の目で見れば、ものすみみみまでまちがいなく「ただちに」見とおすことができ、まちがいがあっても「なおす」ことができること」をあらわした字です。「ただちに」「ジキに(すぐに)」といういみにも、「なおす」「なおる」といういみにもつかわれます。「まっすぐ」「正しい」といういみにもつかわれます。

例直進、直立、曲直。

また、「じかに(間にも人や人が入らないこと)」と「ういみにもつかわれます。例直接、直訴。

「チヨクは漢音、ジキは呉音」

便覧方

- ▽人(ひと)は直(ちか)立(た)して手(て)をつかうことで、ひやくてきな進(しん)歩(ぽ)をとげました。
- ▽ぼくは、先生(せんせい)にしせいを直(ちか)されました。せ中(なかつ)がまがつていると、体(てい)や目(め)にわるいのだそうです。
- ▽わたしの家の近く(ちかく)に、よくパトカーがやって来て、「こは車を止(と)めてはいけな(い)ばしよです。直(ちか)ちに車(くるま)をいどうさせて下(くだ)さい」といっています。でも見(み)ていると、いわれた通(と)りに、す(す)ぐに車(くるま)をいどうさせる人(ひと)は少(すく)ないようです。

熟語例

- ▽直進(まっすぐ進むこと。)
- ▽直立(まっすぐ立つこと。)
- ▽曲直(曲(まが)ったことと、まっすぐなこと。また正(ただ)しくないことと、正しいこと。「理(ことわり)非(ちが)曲(まが)直(ただ)をわきまえる」などといひます。理(ことわり)と直(ただ)、非(ちが)と曲(まが)は同じいみにもつかわれていひます。)
- ▽直接(じかに。間(ま)になにもはさまないこと。)
- ▽直訴(じかに、お上(かみ)に訴(うた)えること。きまった手(て)つづきをふまないで上(うへ)の人(ひと)に訴(うた)えること。)